

= Match Report =

令和元年度 全国高等学校総合体育大会サッカー競技会県予選会 決勝

決勝

2019年 6月 20日 (木)

11:00 kick off 会場(栃木県グリーンスタジアム)

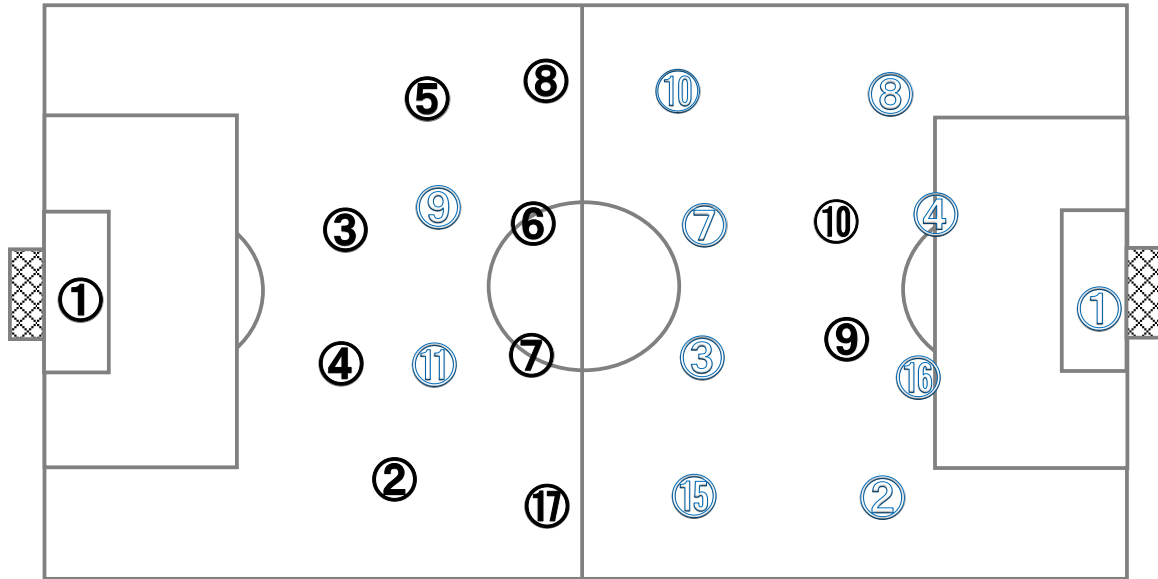
矢板中央

vs

真岡

3	3	-	0	0
	0	-	0	
	-	-	-	
	-	-	-	
	PK	-	-	

基本システム 1 - 4 - 4 - 2 基本システム 1 - 4 - 4 - 2



【Match Report】

ピッチコンディションも良く、快晴で暑さを感じさせる気候である。決勝戦はプリンスリーグ関東所属の矢板中央と県リーグ1部首位の真岡の対決となった。前半開始早々2分矢板中央はセットプレーからの折り返しを④長江が決めて先制する。真岡は動揺することなくDFラインからビルドアップをおこない③相澤雄心を中心に中盤を支配し攻撃を仕掛けていくが矢板中央の守備陣をなかなか崩せない。矢板中央は④長江を中心に安定した守備で真岡の攻撃の阻止しカウンターを試みる。開始早々の得点から膠着状態が続いたが前半33分⑩長江のクロス⑨多田が決めて2対0と矢板中央が突き放した。更に矢板中央⑨多田が相手のミス突き追加点。前半矢板中央が3点リードして終了した。

後半開始早々得点が欲しい真岡が攻撃を積極的に仕掛けていく。真岡は②伊藤潤平を右サイドにポジションチェンジし、後半途中交代で入った⑤伊藤詠人の両サイドバックのオーバーラップからサイド攻撃をおこないクロスから得点を狙う。ペースを握る真岡はサイド攻撃だけでなくバイタルエリアも徐々に攻略し矢板中央のペナルティー内に幾度となく侵入していくが矢板中央の持ち味である守備が堅くなかなか得点を奪えないまま時間が過ぎていった。後半20分過ぎからは真岡はロングボールも多用し、⑪笠原を起点にゴール前にボールを運び得点の機会を作るがあと一歩の所で矢板中央に阻止され無得点のまま終盤を迎えていく。矢板中央は真岡の攻撃に対し安定した守備でゴール前を割らせることなく試合巧者の戦いぶりを見せる。後半真岡は幾度となくチャンスを作り果敢に攻撃をしたが矢板中央の守備が堅く得点を奪えなかった。結果的に前半3得点を奪った矢板中央が勝利し全国総合体育大会出場を決めた。

全国大会出場を決めた矢板中央は特徴である守備から鋭い攻撃が出来るチームであるが今後更にビルドアップの精度を高め、全国大会でも上位進出をして欲しい。真岡高校は丁寧なボールを動かし多彩な攻撃が出来るチームであるが、クロスのバリエーションが増えてくれれば今後が楽しみなチームである。

記載責任者 所属(國學院大學栃木高等学校) 氏名(中田勇樹)